

# 高田6区

## 商業まちづくりニュース

第二号

編集

福島大学

共生システム理工学類

地域計画研究室

会津美里町商工観光課

平成二十二年十月二十一日、第二回「高田6区商業まちづくり推進計画」ワークショップを開催しました。推進計画は、高田6区に

在住する住民が、地域の発展のために事業者と協力をし、次世代に残せるより良い町をつくることを目的としています。

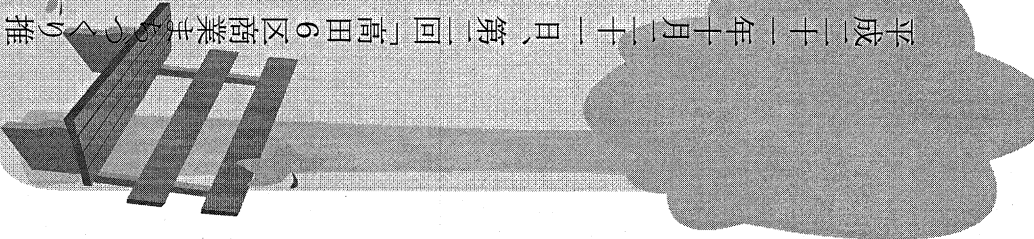
今回のワークショップでは、質問について専用の用紙に記入し、それをグループ内で発表していただくという形式で行いました。ここでは、特に多かった意見や印象的な意見などを紹介させていただきます。

【問1】なじみやすい・訪れやすい商店にするにはどんな工夫が必要ですか？

- ・高齢者が入りやすいように、店の前の階段をなくして入りやすくする
- ・街路灯など、照明を効果的に利用して明るい店づくりをする
- ・店内を明るく、清潔にする
- ・店内の温度を調節する(夏は涼しく、冬は暖かくする)
- ・店舗の明るさ、入りやすさを工夫する

### ～町全体～

- ・あいあいタウンシブが、イベントの多い土日に利用できるとよい
- ・小さな子どもの遊び場があればよい(商店街内)
- ・神社の建設、お祭り等を通して活気づける
- ・情報発信の仕組みを構築する



### ～接客～

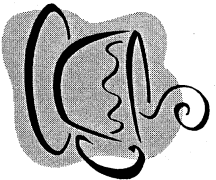
- ・元気のよい接客をする
- ・適度な接客をし、買わなくても店に入られて、出入りしやすくなる
- ・店の人を気にせず、商品が選べる店にする
- ・売り込みをしない店がよい
- ・お客様を名前で呼ぶ
- ・欲しい物に対して、相談に乗ってくれる(買わなくても可)

### ～サービス内容～

- ・店でお手洗いを利用できる
- ・よい
- ・会話しやすく、老人のお茶飲み場となる店とする
- ・お年寄りが多いので店内に休めるイスなどがある
- ・気軽に遊びに行ける店とする
- ・高齢者が近所にお茶飲み話ができる場所が減っている
- ・専門店(物、特にパン)、素人にもわかりやすく説明してくれる店がある

【問2】若者の参加を促すにはどんな工夫が必要ですか？

- ・隣組との交流を良くする(冠婚葬祭など)
- ・家の人から若者に呼び掛ける
- ・行事での若者とお年寄りの役割を作る
- ・若者限定または若者向けのイベントを行う(若者による清掃活動等、一緒に参加する仲間を作る)
- ・地域全体(縦)のコミュニティの前に、同年代(横)のコミュニティを形成する(風神会、雷神会、甚六会などの組織が若者世代にはない)
- ・共通の遊び(野球、スキー等の集まりなど)によって縦の繋がりを強める
- ・親睦会、PTA、子供会などを用いる
- ・子供を巻き込み(親子一緒に参加できる)魅力あるイベント(芋煮会など)を行う
- ・銀行に子供が描いた絵を展示する
- ・花見、ホタル狩り、あやめ祭りなどの子供からお年寄りまで集まれる行事を行う



【問3】高田6区の空き店舗・空地について質問します。

①空き店舗・空地の活用はどのよ

うにお考えですか？

- ・公共性の高いものへの利用(個人利用)
- ・場合は、町の助成が必要)
- ・まちなか図書館(本の管理ではなく、みんなでないらない本を持ち寄り、置いてある本は持ち帰って良い、といったもの。)
- ・趣味のグループに貸し出して活用(パッチワークの展示・販売など)
- ・趣味などを発表できる場(絵・演奏など)

- ・習い事ができる場
- ・子供が交流できる場
- ・コヒーストップや駄菓子屋など、若者や子供が集まれる場所
- ・特産品や野菜など何か一つに特化させたものを何店舗か作る
- ・朝市(家庭菜園の野菜なども気楽に持ち寄れるとい)
- ・花を植え、水やりをする
- ・コビニ(品揃えが良い、明るい)
- ・フリーマーケット(カレシセル)
- ・ギヤラリー・チャレンジショップ
- ・アニメショップ・映画を上映
- ・公園・食堂・書店・集会所

②ゴミ置き場や雷神社周辺の環境保全に関しては何のようにお考えですか？

- ・ゴミステーションを作った方が良いのではないか?という活動が必要
- ・ゴミ置き場や雷神社周辺の環境は今の通りでいいのではないか
- ・環境保全はボランティア精神に委ねる
- ・「ゴミが落ちていなければ捨てられない」「精神で見つけたら自主的に黙つて拾う
- ・可燃ゴミの量が多くなった(野焼き禁止など)ので(量が)目に見えて分かるように公表してほしい
- ・ゴミ置き場の配置は良いが、決まりを守らないでゴミ出しをする人が増えてきた
- ・ゴミの分別についてはドイツに学ぶ
- ・ゴミステーションを多くして枠を設ける
- ・声を掛けてボランティアをする
- ・収集域外からのゴミ出しを禁止する
- ・年に一回の清掃活動をもっと定期的に行うようにする
- ・モラルの向上(雷神様のお祭りを利
- 用して呼び掛ける)

ご意見・ご質問もどございましてら下記の連絡先までお気軽にご連絡ください。

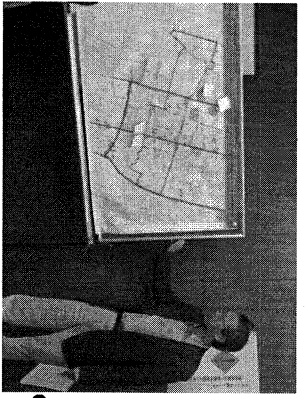
960-1296 福島市金谷川1番地  
福島大学 共生システム理工学類  
地域計画研究室  
e-mail : s0710171@ipc.fukushima-u.ac.jp  
TEL : 024 - 548 - 5276

会津美里町商工観光課  
e-mail : shokan@town.aizumisato.fukushima.jp  
TEL : 0242 - 56 - 4914

編集後記

今回のワークショップでは、第一回目よりも深く議論することができたのではないかと思います。大手のスーパーに対抗するのではなく、高田6区らしさを生かした商店街を形成し、それぞれで役割分担をする必要があります。高田6区の強みである、縁を大切にして人と人のつながりを大切にしたい商店街・地域にしたいと思っております。

鈴木浩先生からお話がありましたように、今回のワークショップはみなさんに出していただいた意見を基に、誰がどのように実践していくかを中心に考えたいと思っております。まっすぐりを進めるにあたり、これまでみなさんに出していただいた意見が無駄にならないよう、先導者を決め、どう組織化してどう戦略を練るのかといったことを議論したいと考えておりますので、次回もよろしくお願いたします。(友美)



次回ワークショップは、  
12月4日(金)午後6時～、  
場所は美里公民館です。